



## 地域連携室は、地域の皆さんと病院をつなぐ窓口です!

皆さんは、当院の地域連携室をご利用されたことがありますか？ 超高齢社会を迎えた今、地域の皆さんが大きな病気や障害を抱え込んでも、お家や施設にて、安心して自分らしく暮らすことができるように、地域連携室では、医療・介護・福祉の面から皆さんを支援させていただいています。



### では、皆さんへどんな支援を？

#### ● 当院へ入院(特に、緊急入院と転院)される患者さん、および、紹介外来患者さんへの対応

前医療機関の診療/介護情報を事前に収集することで、円滑で継続した入院医療を提供します。レスパイト入院(介護者の休養を目的とした入院)の受け入れも可能です。

#### ● 退院への支援・調整・準備

入院患者さんが、不安なく安全に、お家や介護施設へ退院できるためのお手伝いをします。

#### ● 日常生活や診療上で生じる心配事・困り事などの相談窓口

様々なご相談を、患者さんご家族の方と一緒に考えさせていただきます。(例えば; 介護保険や種々の制度利用、診療内容や病気について、治療費や生活費の心配、など)

#### ● 広報活動(広報誌「くまちゃん通信」やホームページ)、勉強会の企画のご案内

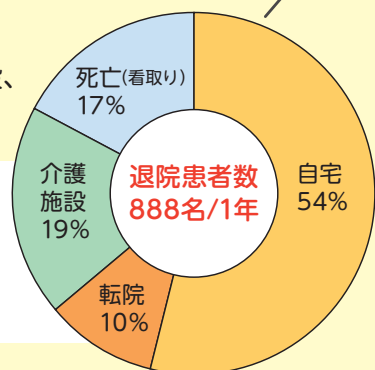
そして、私たちの仕事の基盤は、多職種および他機関との調整役(コーディネーター)です。

#### ● 院内でのチーム医療の推進と、地域の多職種・施設・行政と当院間の連携役割

私たちの支援業務は、地域連携室だけで成せるものではなく、院内では、多職種によるチーム医療の実施、そして、院外では、ケアマネジャーや訪問看護ステーション・介護施設、市行政や地域包括支援センターとの密な連絡と協働の結果にて遂行できています。

当院は、地域に根差した病院として、病院と皆さんのお家をつなぐ架け橋であることをスローガンに掲げてきました。これからも、「どこで、誰と、どのように暮らしていくのか」、ご本人やご家族の意向を大切にしながら、地域の皆さんを支援させていただきます。

令和3年度 退院後の居場所



# 薬事委員会

って、なにを話し合っているの？

新しい院内採用薬の決定と  
薬剤情報の速やかな  
院内周知



## 薬事委員会 北澤 洋子

薬事委員会は、医師・薬剤師・看護師・栄養士・事務職等で構成されており、原則、毎月1回開催しています。薬事委員会では、薬剤に関する様々な内容を話し合ったり、また、情報伝達を行なっていますが、その中でも最も大切な業務は、院内で処方可能な薬剤を決めることです。日々、多くの薬剤が開発・発売される中、全ての薬剤を院内に用意することはできません。そのため、医師の希望に基づいて、安全性

と副作用、使いやすさや値段などを考慮しながら採用を検討します。また、日常診療にてあまり使用されなくなった薬剤の採用中止を提案することもあります。新たな薬剤に関する情報提供や副作用が生じた場合の情報共有など、様々な薬剤情報を速やかに院内周知することが当委員会の役目です。



職員から職員へつなぐ、地域へのメッセージ



リレーメッセージ

## 患者さんに信頼される管理栄養士を目指して、現在、奮闘中！

こんにちは！私たち2人は、この4月から管理栄養士として入職しました。当初は不安でいっぱいでしたが、先輩方の温かい指導とサポートのおかげで、少しずつできることが増えてきました。覚えることが沢山ありますが、2人で協力しながら、毎日楽しく奮闘中です！厨房では、病態に応じた様々な食種の調理や盛り付けを行い、また、食数管理や献立作成などの栄養士業務にも挑戦しています。最近では、患者さんとお顔を合わせる機会でも嬉しく思っています。毎日の食事は、入院患者さんにとって大きな楽しみの一つですので、美味しくて彩り豊かな栄養満点の食事を届けられるように心がけています。まだまだ未熟な私たちですが、患者さんに信頼していただけるような一人前の管理栄養士を目指して頑張ります。



栄養課 管理栄養士

荒川 紗季 森谷 紗也果

【病院仲間からのひと言】キラキラ笑顔のフレッシュな二人は、栄養課の人気者です！

次号予告

次号(11月号)は、「健診ドック室 事務員 東新 綾子・申崎 麻衣」からのメッセージです。



## 新型コロナウイルス感染への不安から、がん検診の受診を控えていませんか？

健康を守るためには、がん検診の「定期的な受診」が大切です。

がんは、日本人の2人に1人が、生涯のうちに罹患すると言われており、誰でもがんになる可能性があります。がん検診を定期的に通診し、早期発見・早期治療することにより、多くの方は助かることが分かっています。しかし、コロナを理由に受診を見送り、次の受診までの期間が空いてしまうと、早い段階で発見できたはずのがんが、進行した状態で見つかる可能性が高くなります。コロナ禍であってもがん検診は定期的に通診することがとても重要です。



## 医療法人 朗源会 大隈病院

〒660-0814 兵庫県尼崎市杭瀬本町2-17-13  
TEL:06-6481-1667(代表) FAX:06-6481-1753  
URL <http://ookuma.or.jp/ookuma/>



朗源会グループ ■岩崎クリニック ■大隈病院附属 歯科クリニック ■在宅事業部  
■特別養護老人ホーム ほがらか苑

大隈病院

検索

### 基本方針

- 地域の人々に信頼される病院になります。
- 高度の医療機能を持つ かかりつけ病院になります。
- 病気を治すだけでなく、病める人の心を癒す病院になります。
- 職員が勉強し、朗らかでやりがいのある職場をつくりまします。

「くまちゃん通信」2022年9月 第38号 発行 大隈病院  
企画協力・デザイン・印刷 兵田印刷工業株式会社